

画期的な注入剤が できました!!

専用注入器でこんなに便利!!



●注入量が非常に少ない

●持ち運びが便利

●松やにが出る場合でも注入可能

松枯れ予防 樹幹注入剤

マッケンジー[®]



保土谷アグロテック株式会社

■適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	塩酸レバミゾールを含む農薬の総使用回数
まつ (生立木)	マツノザイセンチュウ	原液	1孔当たり1ml	マツノマダラカミキリ成虫発生前まで	樹幹部に8~10cm間隔で注入孔をあけ、注入器の先端を押し込み樹幹注入する	1回	1回
			1孔当たり2ml		樹幹部におおよそ15cm間隔で注入孔をあけ、注入器の先端を押し込み樹幹注入する		

注入時期



■マッケンジーの使い方

1 ドリルで孔を開ける

施工場所の高さに、やや斜め下に向かってドリルで孔を開けてください。



2 マッケンジーを注入する

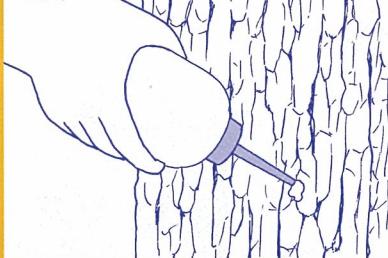
孔にノズルを差し込み、ゆっくりレバーを引いて薬液を注入してください。
(1引きで1mlが注入されます。)

- ①8~10cm間隔のとき1孔に1ml注入
- ②およそ15cm間隔のとき1孔に2ml注入



3 孔埋め剤でふさぐ

薬液を注入し終えた孔は孔埋め剤でふさぎ、雨水や雑菌が侵入しないよう処置してください。



⚠ 効果・葉害等の注意

- マツノマダラカミキリの成虫によって伝播されるマツノザイセンチュウの侵入、増殖防止を目的とするもので、マツノマダラカミキリの成虫には効果がないので注意してください。
- 注入はマツノマダラカミキリの発生する前に行なってください。なお、使用液量1孔当たり1mlの場合の効果は約1年間、1孔当たり2mlの場合の効果は約2年間持続します。
- 注入孔を空ける場合、使用液量1孔当たり1mlの場合は樹幹の周囲に8~10cmができるだけ等間隔に分散させて穿孔し、使用液量1孔当たり2mlの場合は樹幹の周囲におおよそ15cmができるだけ等間隔に分散させて穿孔してください。
- 注入孔は、地際より高さがおおよそ1m未満の位置に大きな節や瘤の真下をさけ、やや斜め下方に向けてドリル等で直径4.5~6mm、深さ3~8cm程度の孔としてください。
- 注入は本剤専用の注入器を使用し、薬剤がもれないよう注入針の先端を孔にしっかりと刺し込んでください。
- 樹脂流出に異常を呈しているマツや枝葉が変色したマツには治療効果が期待できないので注意してください。
- 注入の終了した孔は癒合剤などを充填し、雨水や雑菌が侵入しないように処置してください。

●注入に使用した器具、容器は作業終了後すみやかに回収し、環境に影響を与えないよう安全に処理してください。

●使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。

⚠ 安全使用上の注意

●医薬用外劇物のため取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。

●注入の際は手袋などを着用してください。また注入液が身体に付着しないよう注意し、作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。

●街路、公園等で使用する場合は、使用中および使用後(少なくとも使用当日)に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう繩囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意してください。

●保管：直射日光をさけ、食品と区別して鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管してください。盗難・紛失の際は、警察に届け出してください。

○使用前にはラベルをよく読んでください。 ○ラベルの記載以外には使用しないでください。 ○小児の手の届く所には置かないでください。



保土谷アグロテック株式会社
東京都中央区日本橋3丁目14番5号 祥ビル